

平成 22 年度予算編成に当たっての重点要望事項

総務局

- 市民の不公平感をなくすため、納税意識の高揚にさらに努められるとともに、収入未済額の縮減と税収確保の観点から口座振替等の更なる普及促進に努められ、滞納整理の促進を図られたい。

企画財政局

- 国においては、ひもつき補助金を廃止し、地方の自主財源に転換させようとする動きがあるが、地方が自己責任において自立した行財政運営を行うために必要な財源については、地方交付税総額を増額するなど、十分に確保されるよう国に強く要請されたい。

市民局

- 消費者行政については、振り込め詐欺や、悪徳商法等の被害は増加の一途を巡り、特に、悪質な出会い系サイトを利用した若者の被害や、高齢者がその対象となるケースが殆んどである。本市をはじめ各機関が様々な防止等を講じているが、巧妙で悪質な手口がエスカレートし、騙される人が後を絶たないのが現状である。振り込め詐欺や悪徳商法等から市民を守る為、よりきめ細かい情報提供や啓発等に更に努められたい。

環境局

- 地球温暖化対策については、「地球温暖化対策地域推進計画」におけるこれまでの取り組みに加え、まちづくり全般において環境の視点で、積極的な施策の展開を図られたい。また、温室効果ガスの大幅な削減の為の行動計画の策定にも取り組まれたい。

健康福祉局

- 保育園の待機児童解消策については、21 年 10 月に策定した「第二次かごしま市保育計画」に基づき、その解消に向け積極的に取り組まれたい。また、保育料滞納対策については、利用者の不公平感が生じることや、財源確保の観点から、さらに、関係者等の協力を得ながら徴収に万全を期されたい。

保健所

- 新型インフルエンザは、市民の大多数がその免疫を持っていないため、感染の拡大が懸念されている。そのため、今後とも、新型インフルエンザの感染予防及び拡大防止を図るため、個人予防についての広報啓発に努めるとともに、適切な医療体制が確保できるよう医療機関との連携に努められたい。

経済局

- 農業従事者高齢者対策や、新規就農者育成、遊休農地解消の為、産業としての農業の強化・再構築に向けて多面的な取り組みを引き続き図られたい。

建設局

- 谷山駅周辺地区土地区画整理事業については、ひきつづき鉄道高架化事業や谷山第2・第3地区土地区画整理事業とあわせ、副都心の魅力ある都市空間形成に努められたい。
- まちづくり交付金については、本市の都市基盤整備の更なる充実を図る上からも、特に重要な第一期、第二期の都市再生整備計画に位置づけられた6地区の区画整理事業をはじめ、各種事業に活用されることに鑑み、この良質財源を継続して確保出来るよう国に要請されたい。

消防局

- 不特定多数の出入りする雑居ビル等の防火管理及び避難管理体制の指導の徹底を図られたい。また、住宅用火災警報器の普及・啓発に努められたい。

市立病院

- ドクターカーの導入に向けては、ドクターヘリの導入も視野に入れ、関係局がそれぞれの役割を認識するなかで連携・これまでの研究に加え更なる検討をおこない、導入に向けた道筋をつけていただきたい。

交通局

- 路線及び営業所の委託にあたっては、利用者の利便性低下を招かぬ様、特段の配慮を図られたい。

水道局

- 水道事業及び公共下水道事業においては、使用水量の減により、収益の伸びが期待できないことから、経費の節減や民間委託の活用等、引き続き効率的な経営に努力されたい。

船舶部

- 厳しい経営状況を踏まえ、引き続き各面からの努力を図られたい。又、「桜島観光振興プラン」の推進と連動した施策の充実と関係部局との連携に努められたい。

教育委員会

- 平成 21 年度から 22 年度にかけて策定する「教育振興基本計画」については、教育基本法の趣旨を踏まえ本市の自然、歴史、文化などを生かし、郷土教育、校区公民館活動など本市独自の取組みを盛り込んだ特色ある計画としていただきたい。